

情報公開文書

研究の名称	離乳食摂取状況とアレルギー疾患発症の関連（エコチル調査）
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人富山大学
研究責任者	富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座・教授 稲寺 秀邦
研究の概要	<p>【研究対象者】 子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）に参加する児のうち生産であったものおよび参加に同意した保護者</p> <p>【研究の目的・意義】 アレルギー疾患は、遺伝的要因と環境要因が複雑に絡み合う多因子疾患であり、我が国では国民の半数が何らかのアレルギー疾患に罹患しているとされています。食事は、乳幼児期の重要な環境因子とされ、その後のアレルギーの発症に影響を及ぼすことが知られていますが、アレルギー発症を予防する上での適切な離乳食開始時期や、適切な食品については未だ明らかになってはいません。そこで、本研究ではエコチル調査のデータを用いて、離乳食開始時期、各食品の摂取量や摂取習慣とアレルギー性疾患の関連について明らかにすることを目的とします。</p> <p>【研究の方法】 エコチル調査に既に登録された対象者について検討します。エコチル調査では出生6か月後から半年おきにアレルギー疾患の診断や、アレルギー症状の状況を尋ねる質問票を送り、保護者から回答を得ています。この質問票には疾患罹患以外に、生活習慣や社会経済的要因など多数の情報収集を行っており離乳食の品目と摂取開始時期、摂取頻度に関する情報も取得済みです。本研究では、すでに取得済みのデータセットを用いて解析を行い、追加の情報収集は行いません。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ~ 2025年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 利用する情報からは、お名前、住所など、参加者さんを直接同定できる個人情報情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌、エコチル調査専用のホームページ、シンポジウム、広報誌、テレビ、ラジオなど様々なメディアで発表されますが、その際も参加者さんを特定できる個人情報情報は利用しません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	質問票より得られた児が罹患したアレルギー疾患、アレルギー症状、離乳食の品目と摂取開始時期、摂取頻度、母親、年齢、妊娠前のBMI、妊娠中後期の身体活動、婚姻状況、雇用状態、母教育レベル、アルコール消費、母のアレルギー歴、児の性別、在胎週数、分娩方法、出生体重、出生季節、同胞の有無、先天奇形の有無、集団保育利用、ペット飼育、世帯収入などの情報を用い、多変量解析を行います。また、他機関への情報提供はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座・教授 稲寺 秀邦
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関におけ	富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座・教授 稲寺 秀邦

る研究責任者氏名)	
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 TEL:076-434-7277 FAX:076-434-5023 E-MAIL aktsuchi@med.u-toyama.ac.jp 富山大学 学術研究部医学系 公衆衛生学講座 土田暁子・助教